

報道関係者各位

2025年11月21日

令和7年度『東京エコビルダーズアワード』 株式会社中央住宅が《ハイスタンダード+（プラス）賞》を受賞

ポラスグループ
株式会社中央住宅

ポラスグループ 株式会社中央住宅（本社：埼玉県越谷市、代表取締役社長：品川 典久）は、「令和7年度東京エコビルダーズアワード」（主催：東京都環境局）において、《ハイスタンダード+（プラス）賞》を1部門で、《ハイスタンダード賞》を2部門で受賞しました。

ポラスグループは「持続可能な社会の実現」に向け、今後も更なる住宅の省エネルギー化を推進し、お住まいになる方の快適性と環境への配慮を両立させる家づくり・街づくりを目指します。



【アイムス花小金井 P.T.SITE】

■「東京エコビルダーズアワード」について

令和7年4月に開始した「建築物環境報告書制度」(※)への参加に向けた事業者の取組を後押しするため、環境性能の高い建築物の普及に取り組む意欲的な事業者を表彰しています。優良事例等の共有、都民への情報発信等を通じて、建築物脱炭素化に向けた意識醸成を図ることを目的とするものです。

(※)大手ハウスメーカー等に対して、新築住宅等に太陽光発電設備の設置や断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける制度

東京都環境局ホームページ: https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/solar_portal/ecoaward

■受賞内容

東京都内において、令和6年10月1日から令和7年3月31日までの間に、建築確認済証が交付された新築住宅全棟が「建築物環境報告書制度」に定める基準を達成していることから、以下の表彰を受賞しました。

種別	部門	評価の概要
ハイスタンダード+（プラス）賞	①断熱・省エネ性能	建築物環境報告書制度で定める断熱・省エネ、再エネ設置誘導基準(※1)を達成
ハイスタンダード賞	①断熱・省エネ性能 ②再エネ設備設置量	建築物環境報告書制度で定める断熱・省エネ、再エネ設置基準(※2)を達成

(※1) 建築物環境報告書制度で定める断熱・省エネ、再エネ設置誘導基準

①断熱・省エネ性能部門

・住宅一棟ごとのUA値 $\leq$ UA値(0.6)

・分譲戸建住宅の事業者ごとの都内平均 BEI値 $\leq$ 基準BEI値(0.8)

※UA値：室内と外気の熱の出入りのしやすさの指標 ※BEI値：一次エネルギー消費性能を示す指標

②再エネ設備設置量部門

・誘導すべき再エネ設置基準[kW]＝年間の設置可能棟数[棟]×算定基準率×棟当たり基準量[4kW/棟]

(※2) 建築物環境報告書制度で定める断熱・省エネ、再エネ設置基準

①断熱・省エネ性能部門

- ・住宅一棟ごとの UA 値 $\leq$ UA 値(0.87)
- ・分譲戸建住宅の事業者ごとの都内平均 BEI 値 $\leq$ 基準BEI 値(0.85)

②再エネ設備設置量部門

- ・再エネ設置基準[kW]=年間の設置可能棟数[棟]×算定基準率×棟当たり基準量[2kW/棟]

本件に関するお問い合わせ先

ポラスグループ ポラス株式会社 コミュニケーション部 広報課

TEL:048-989-9151

【ご参考】

11月19日に東京ビッグサイト(東京国際展示場)で開催された「ジャパンホームショー&ビルディングショー」(主催:一般社団法人日本能率協会)内の東京都環境局・東京都環境公社ブースにて、株式会社中央住宅が、「令和6年度東京エコビルダーズアワード」を受賞した事業者としてセミナーに登壇しました。

セミナーでは、建築物環境報告書制度の達成状況や、脱炭素に向けた取り組み事例である「東京ゼロエミ住宅」の分譲地の開発、斜線制限が厳しい条件下における太陽光パネル敷設に適した屋根工法「振れ隅屋根工法」のプレカット化の実現(2025年度グッドデザイン賞受賞)等について紹介しました。



株式会社中央住宅 マインドスクエア事業部
設計部 武田 歩



「振れ隅屋根工法」を活用した住宅